

白のホールのご利用にあたって

(新型コロナウイルス感染症対策について)

令和3年11月20日
ビッグハート出雲

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の内容をお読みいただき、対策を十分に行ってご利用いただきますようお願いいたします。

この内容は、(公社)全国公立文化施設協会のガイドライン改定版(令和3年10月15日)を参考にしています。今後の感染状況等により変更することがありますのでご了承ください。

(1) 事前調整

- ・ 仕込み・リハーサル・撤去において余裕あるスケジュールを設定してください。
- ・ 休憩時間や入退場時間は余裕を持った設定としてください。
- ・ 会議室や練習場等は、大声での発声が伴わない利用については、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、定員までの利用としてください。一方で、条件が担保されない場合は定員を制限してください。

(2) 客席の配席(収容率)

- ・ 来場者の配席については、できるだけ指定席にするなどして、主催者側で客席状況を管理調整できるようにしてください。
- ・ 国の事務連絡や島根県の対応を前提とし、地域の感染の状況、公演の内容、上演時間、想定される観客層等を踏まえつつ、来場者による大声での歓声、声援、唱和等がないことを前提としうる公演については、必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、収容定員までの配席数とすることが可能です。
- ・ 上記以外の公演については、正しいマスク着用と発声の抑制の周知及び主催者による個別注意など必要となる感染防止策を総合的に講じた上で、原則として収容率は国の事務連絡や島根県の対応に従ってください。(異なるグループ間では座席を1席空けますが、親子等の同一グループ(5名以内)では座席間隔をあける措置は不要です。すなわち、収容は指針を超える場合もあり得ます。)
- ・ なお、ワクチン未接種年齢層や高齢者が多数来場すると見込まれる公演については、感染リスクや重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。
- ・ 客席の最前列席は舞台上の発声等を伴う出演者から十分な距離を取ることとし、最低でも水平距離で2m以上を設けてください。

(3) 公演関係者に関する感染防止策

- ・ 公演主催者及び公演関係者は、その表現形態に応じて、出演者間で最低1mを目安とした十分な間隔をとるなど、可能な限り感染防止に努めるようにしてください。
- ・ 公演時の出演者を除き施設内ではマスクの常時着用を原則とし、公演前後の手指消毒を徹底してください。
- ・ 楽屋、控室、稽古場等でも不特定多数が触れやすい場所の定期的な消毒を徹底し、必要箇

所に手指消毒用の消毒液を設置してください。

- また、楽屋は密にならないように定員を調整するとともに常時換気を励行ください。
- ケータリングにおいては、使い捨ての紙食器を使用するなど、十分な感染防止対策を講じてください。
- 舞台袖、舞台裏、楽屋などの狭いスペースでの待機時や、喫煙スペースや洗面スペース、飲食周りなどマスクを外しての利用に際し、各場所に応じた定員制限や会話の抑制等を徹底してください。
- 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限してください。
- その他、練習・稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講ずるとともに関係者の健康管理に努めてください。

(4) 来場者に関する感染防止策

- 来場前の検温の要請とともに、来場を控えてもらうケースを事前に十分周知してください。また、その際の振替やチケット代金の払戻等の諸条件については、発売時に告知してください。
- 来場者側の自己検温だけではなく、公演主催者側でも会場入場時に検温等の対策を講じてください。
- 入退場時の密集回避のため、時間差を設けての入退場や入退場導線の分散、案内人員の配置、またメッセージボード等を使用した呼びかけ等により、十分な距離（最低 1m）の間隔を確保してください。
- チケットシステム等の活用により、来場者の氏名及び緊急連絡先の把握に努めてください。また、来場者に対して、こうした情報が来場者から感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。
- 公演中の携帯電話等の抑制案内は、電源オフではなく、接触確認アプリの作動を妨げないように電源及び Bluetooth を on にした上で「マナーモードかつフライト／機内モード」設定としてください（携帯電話抑制装置の使用はアプリ作動には干渉しません）。
- 配慮が求められる来場者、障がい者や高齢者、ワクチン未接種年齢層等については事前に対応策を検討してください。

(5) 会場内での感染防止策

① 接触感染防止策

- 会場内の不特定多数が触れやすい場所の定期的な消毒を徹底してください。
- 会場の出入口等の必要箇所に手指消毒用の消毒液を設置し、入退場時の利用を周知してください。また、不足が生じないよう定期的な点検を行ってください。
- 入場時のチケットもぎりについては、入口の滞留状況等を想定し、簡略化（来場者が自らもぎって箱に入れ、主催者は目視で確認）するか、係員のこまめな手指消毒（若しくは手袋着用）の徹底かを検討してください。
- チラシ・パンフレット・アンケート等は、据え置きとし来場者が自ら取得するか、手渡しの場合には係員の手指消毒（若しくは手袋着用）を徹底してください。
- プレゼントや差し入れ等は控えてください。

- ・ 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限してください。
- ・ 来場者や関係者等、それぞれの立入り可能エリアを限定（来場者が楽屋エリア等に立ち入ること等を制限）してください。

② 飛沫感染防止策

【公演関係者（特に出演者）⇔来場者間の感染防止策】

- ・ 感染リスクが高まるような演出（声援を求め、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は控えてください。
- ・ 来場者の案内や誘導に際しては十分な距離（最低 1m）を取るとともに、不織布マスクを着用してください。
- ・ 来場者と接する窓口（招待受付、当日券窓口）等では、透明ビニールカーテン等の間仕切りを設置し、来場者等との間を遮蔽してください。

【来場者⇔来場者間の感染防止策】

- ・ 施設内ではワクチン接種の有無に関わらずマスク着用を必須とし、未着用来場者に対しては配布や販売等を行うことにより着用を徹底してください。
- ・ 休憩時間や入退場時間は、会場の収容人数や収容率、入退場経路等を考慮し、余裕ある時間を設けてください。
- ・ 休憩時間や入退場時には会話抑制を周知するとともに、近距離における対面での会話や滞留を抑制するように促してください。
- ・ 休憩時間や退場時の客席からの移動に際しては券種やゾーンごとの時間差とする等により、滞留を抑制してください。
- ・ 休憩時間のトイレでは、十分な間隔（最低 1m）を空けた整列を促してください。
- ・ 会場内での食事は、長時間マスクを外すことが想定されますので控えてください。

(6) その他、物販等

- ・ 物販に関わる関係者は、不織布マスクの着用に加え、必要に応じてこまめな手指消毒（手袋着用）を行ってください。
- ・ 多くの方が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないでください。
- ・ オペラグラス等の貸出物について十分な消毒を行うとともに、十分な消毒が行えない場合は貸し出しを行わないようにしてください。